

備前市事務事業評価表

事務事業名	大気汚染防止事業	コード	担当課	環境課 保全係
		01-02-01-01	担当者	片岡英史
事業実施期間	平成17年3月22日～		電話	64-1822
総合計画 事業（政策）体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目	自然と共生するまちづくり		
	小項目	環境保全		
	施策	大気汚染の防止		

事業について	
目的	大気中の環境状況の現状及び経年推移を把握するため、環境指標物質や人体に有害な物質などを調査測定し、公表することにより、市民の生活環境の保全と健康の保護を図る。
対象（誰のために）	市民
内容	大気汚染常時監視測定、環境大気調査、発生源燃料調査

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など	回数など	回数など
大気汚染調査	5,158 回		
測定機器管理	216 回		
測定機器更新	1 回		
最新規制適合車等代替の助成金交付	3 台		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	19,540	国庫補助金等	485	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	5,150	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	24,690	市債	11,100	合計	0	市債	0

結果指標①	必要人員	0.65	人		
	結果指標名	大気汚染調査			
	結果指標量	5,158			
	単位	回			
	対前年比	—		0.00%	

結果指標②	結果指標名	測定機器管理			
	結果指標量	216			
	単位	回			
	対前年比	—		0.00%	
	事業費	7,308,000	円		

事業の成果			
成果指標名	調査計画達成率	式又は説明	実施調査回数/計画調査回数 ※回数=調査地点数×調査回数×調査項目数
成果指標量	17年度 0.99		
到達目標値	—	到達目標年度	H19年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：大気汚染防止法
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用して <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	
コメント	大気汚染常時監視については、更に欠測データを減らすために測定機器に十分な保守管理を行う必要がある。また、周辺環境等の状況変化に応じ調査内容を改善しながらの事業継続が妥当である。
評価区分	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	4,700	結果指標量②	200
目標値	1.00		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	測定地点・項目等の見直し、削減	H18~	経費削減

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。